



共に未来を創るフューチャーセンター 実践記録

H26年1月17日(金)
アスト津 みえ県民交流センター



この実践記録は、平成26年1月17日(金)に「NPOと企業などのさまざまな主体の連携・協働を促進する場づくり」を目指して、アスト津・みえ県民交流センターで開催した「フューチャーセンター」の概要について紹介しています。

作成：NPOと企業パートナーシップ促進ワーキンググループ

【開催までの経緯】

- 平成25年4月、「NPOと企業のパートナーシップ」を促進するために、どのような取り組み、仕組みが必要なのか、を検討するため、産・官・学・民のセクターからメンバーが集まり、「NPOと企業のパートナーシップ促進ワーキンググループ（略称：産官学民ワーキング）」を結成した。
- 平成24年度に三重県が実施した「NPOと企業の連携・協働実態調査」では、回答のあった企業（三重県内の754社から回答）の95%以上が、「地域のためになる活動をしたい」という意欲を持っていた。
- また、「地域をよくしたい」というミッションを持って活動しているNPOと、地域を想う気持ちを重ねるようになってきたのも確認できた。
- 一方で、企業やNPOからは、「出会う機会」「交流する機会」のきっかけがない、タイミングがない、という声があり、「企業やNPOが個別に出会いを意識して活動するのも大事であるが、地域に「出会い」「交流」を促進する場があればいいのでは」というニーズが多かった。
- 産官学民ワーキングでは、「NPOと企業、その他、「地域をよくしたい」と想う多くのセクターの連携・協働を促進するために、地域でどのような交流の場があれば有効なのか」「交流の場では、どのような内容であれば、よりよい連携・協働のアイデアが生まれるのか」を検討した。
- そして、地域の多様なセクターが集い、「地域がよくなる新たなアイデア」を未来志向で考える「フューチャーセンター」を、交流と新たなアイデアを生み出す場のモデルとして実践してみることになった。

【開催の概要】

日時：平成26年1月17日（金） 14：00～17：00

場所：アスト津3階 みえ県民交流センター 交流スペース

来場総数：53名

- ・参加者 30名（企業関係者 7名、行政関係者 7名、NPO関係者 9名 大学生 7名）
- ・見学者 15名
- ・関係者 8名

進め方

- *参加者が5名のグループに分かれる。
- *各グループは異なるセクターからの参加者による構成する。
- *ファシリテーターの進行のもと、多様な視点からの未来志向のクリエイティブな発想で意見を持ち寄り、地域を善くする新たなアイデアを考える。

ファシリテーター

メイン：特定非営利活動法人Mブリッジ 池山 敦氏

サブ：特定非営利活動法人Mブリッジ 石丸隆彦氏、中川絵美子氏

当日の様子

【受付】



【セッション前の準備】

参加者は入口付近に配置されたポストカードの中から気に入った1枚を選んで着席



【主催者からの趣旨説明】



【ファシリテーターからの“フューチャーセンター”について説明】

フューチャーセンターとは？なぜこのような場が必要なのか？などについての説明と紹介



【アイスブレイク（自己紹介）】

自己紹介とともに、入口で選んだポストカードを見せながら、「なぜ選んだか」を説明する。（話しやすい雰囲気をつくる）



【対話トレーニング】

2人1組になってお互いのカードの共通点を探す。1人では思いつかないことでも、他人の視点を借りることで新たな思いつきがあることを体験する。



【シナリオセッション】兆し探し

今回のテーマは「子育て支援」。子育て支援に関係のありそうな「未来の兆し」を各自ポストイットに書き出し、グループで共有する。

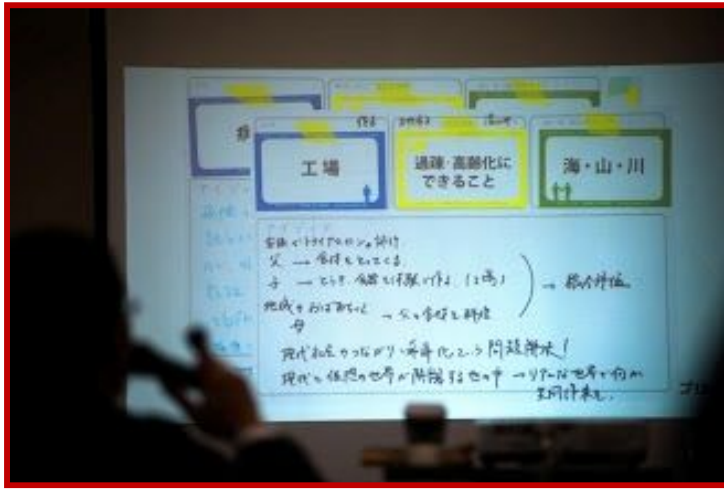


【アイデアセッション】

大テーマ：地域が善くなる活動の新たなアイデア

小テーマ：子育て支援

アイデアを生み出すツールを使って、「子育て支援」の新たなアイデアを考える。考えたアイデアは、所定のシートにアウトプットする。



【ポスターセッション&サロン】

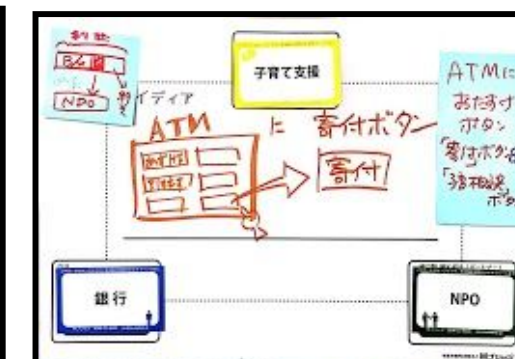
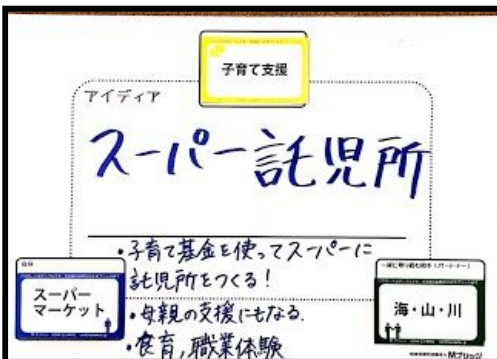
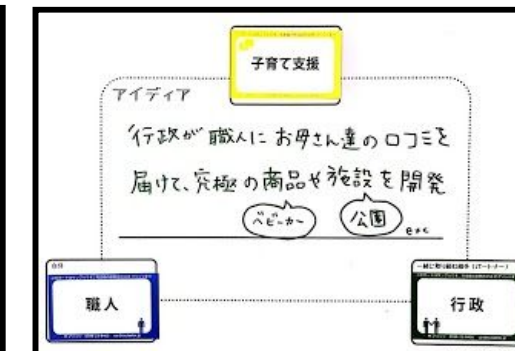
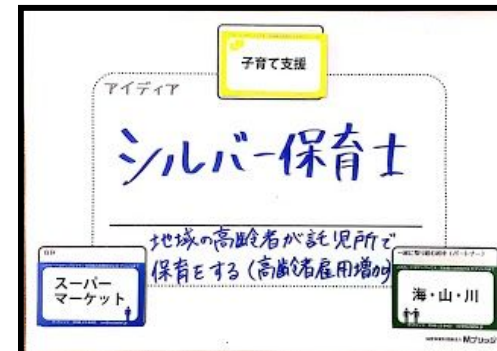
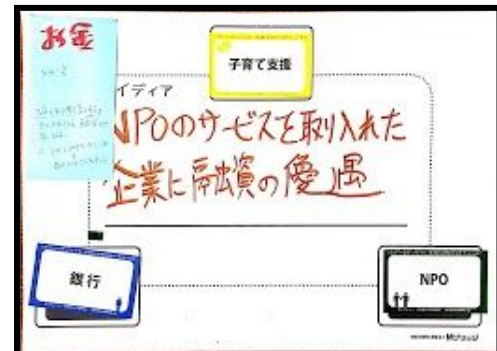
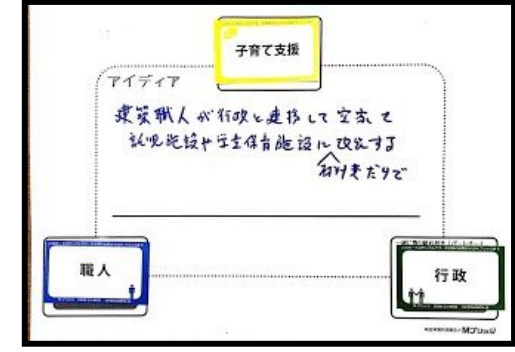
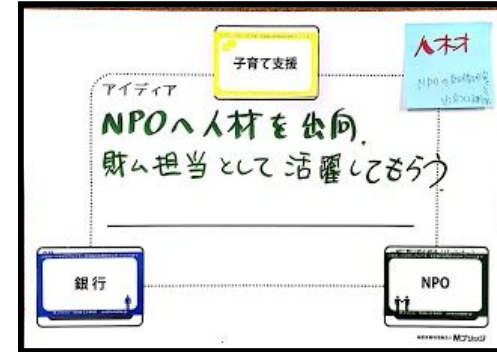
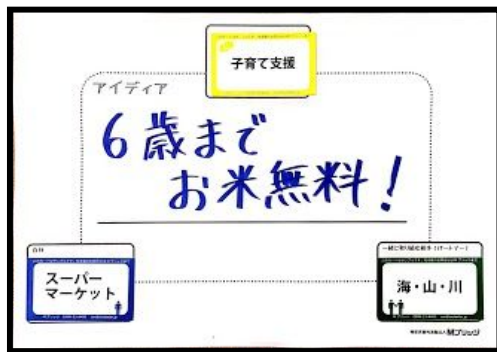
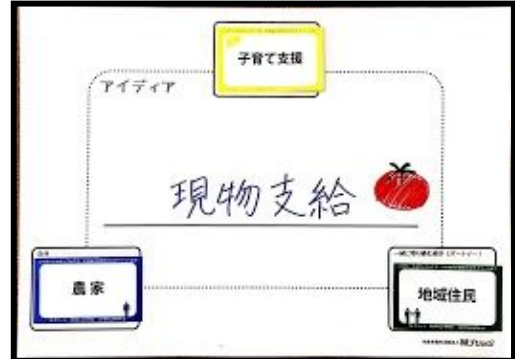
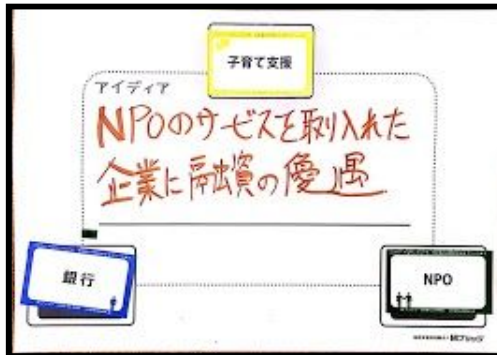
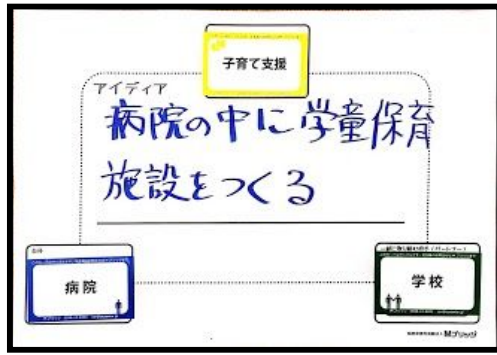
他のグループと交流。メンバーの1名は自分のグループに残って、他のグループからの質問等に答える。



【フィナーレ】



【出されたアイデアの一部ご紹介】



【アンケートから】

満足度(5段階評価) 5点:15人 4点:18人 3点:2人 2点:0人 1点:0人
平均:4.3点

- 色々なセクターの方のお話を聞くことができ、新しい情報・発想を得ることができ、大変満足しています。
- あっという間の3時間でした。色んなアイデアが面白かった。
- 色々な立場の方とお話しでき、フューチャーセンターという考えを知ることができてとてもよかったです。
- フューチャーセッションへの参加は初めてですが、コーディネーターの雰囲気づくりがとても上手で、話しやすいと感じました。
- 様々な立場の人と話せたのがよかった。未来志向というのがなかなか難しかった。
- フューチャーセッションの手法の勉強になった。立場の異なる方との対話の時間が持てたのは良かった。シナリオプランニング作業の意図を理解するのに時間がかかったところは要改善でマイナス1。
- フューチャーであるが、何を要求されているのか理解できない。何に対してのフューチャーか？
- 全体のストーリーが見えなかった。テーマ設定によるのか？いろんな立場、性別階層の方々が参加するメリットを感じた。もち帰って、どう政策、具体化するかが大切(1回では分からないですね)。
- 柔らかい雰囲気ですぐ話しやすく、多様な意見交換をすることができました。ただ、テーマ設定がやや大まかで、どの面から話をすればよいのか迷う場面がありました。
- セクターにとらわれない同志でアイデアを自由に柔軟に出し合う心地よさと、そこから現実的に実行することと推進力を導く道すじがみえにくい心地悪さの両方を感じた。
- あっという間だったので、もう少し時間があってもいいように感じました。
- 多様主体との話し合いによって、視点、価値感が広がることによって、新しい取組が生まれるのでは？
- NPO、企業、学生といった、全く異なる背景をもった方々と、色とりどりの意見を交わしあうことができました。ありがとうございました。